



## 上空からの雪崩パトロール！！

湯沢維持出張所管内では例年、積雪がピークをむかえる2月にヘリコプターによる国道17号の雪崩パトロールを行っています。今シーズンは2月27日(木)に実施しました。

ヘリコプターによる雪崩パトロールでは、地上から確認することができない、山頂尾根の雪庇状況や、斜面・沢部の堆雪状況の全体把握を行い、今後の雪崩防止の対応について確認しました。

パトロールの結果、管内全般にて斜面積雪の融雪が進み、発達した雪庇が尾根部から巻きだれている様子や、一部の斜面においては全層雪崩の発生原因となる積雪部のクラックが発生している状況等が確認されました。

今後は気温の変化に伴う斜面積雪の緩みが進行し、全層雪崩の発生危険度が高まりますので、引き続き日常的な雪崩パトロールによる詳細調査を実施の上、雪庇の処理や全層雪崩対応のための雪堤の築造等を行ってまいります。

【湯沢維持出張所】



【ほくりく号にてパトロール出発】



【パトロール中】



【上空から斜面・沢部を確認】



【芝原地区】

編集・発行・お問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 長岡国道事務所 計画課

TEL:0258-36-4551(代表) FAX:0258-36-4582



国土交通省北陸地方整備局

ふるさとのぬくもり伝える 道づくり

長岡国道事務所

〒940-8512 長岡市中沢4-430-1

<http://www.hrr.mlit.go.jp/chokoku/index.html>

ちよーこく 検索

携帯版

スマホ版



## 工事施工技術発表会を開催しました

2月27日(水)に長岡リリックホールにおいて、長岡国道事務所工事安全対策協議会の工事施工技術発表会を開催しました。これは、現場条件や施工環境が全く異なる各現場において、現場特有の課題を解決するために、各工事で実践した様々な創意工夫や新しい試み、安全対策等について、受注者の皆さまから発表していただくもので、技術力向上や安全施工の推進を目的に年1回開催しています。

今回で25回目の開催となりますが、工事が仕上げ段階となる多忙ななか、協議会構成員より51編の報文を提出いただき、その中から特に優秀な報文8編を発表していただきました。

発表されたテーマは多岐にわたっており、橋脚柱頭部のマスコンクリート施工で部分的にパイプクーリングを用いた事例、直轄国道を跨ぐ2橋の跨道橋撤去で実施された安全施工等の取り組み、場所打杭工における鉄筋カゴ座屈原因の究明と対策の施工、夏場におけるアスファルト舗設温度の工夫、トンネル覆工コンクリートの充填確認に電磁波レーダを用いた事例、現場管理にウェアラブルカメラを用いた事例、安全教育・訓練にVRを用いた事例、ICT土工と連動してダンプトラックの過積載防止をシステム化した事例など、現場の様々な取り組みが発表されました。

発表された報文8編について、審査委員5名の審査により、最優秀賞3編、優秀賞5編を決定して、表彰式を行いました。

今回の発表会には141名の多くの方々にご来場いただき、参加者からのアンケートでは「非常に参考になった」という感想も多くいただいています。今後も受注者・発注者相互の技術力向上、現場の安全施工に資するための取り組みを継続的に実施していきます。

【総括保全対策官】

### ○最優秀賞

橋梁上部工柱頭部におけるひび割れ抑制対策  
現道を跨ぐ橋梁撤去の取り組みについて  
無溶接工法に伴う場所打杭工の鉄筋カゴに対する問題と対策

株式会社安藤・間  
株式会社曙建設  
株式会社森下組

### ○優秀賞

夏期における中温化合物による表層工の施工について  
電磁波レーダ探査による覆工コンクリートの背面調査  
現場施工におけるウェアラブルカメラの試験的活用  
安全教育・訓練の工夫  
現場における土砂運搬時の過積載防止対策について

株式会社北越舗道  
戸田建設株式会社 関東支店  
本間電機工業株式会社  
伊米ヶ崎建設株式会社  
井口建設工業株式会社



報文発表



表彰式



受賞者記念撮影